

豊かに快適な環境を求めて・・・



爽やかな笑顔、
真心のサービス

2022年度環境経営レポート

2022年4月～2023年3月



～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針
2. 組織の概要
 - ◆ 事業者名及び代表者氏名
 - ◆ 事業所所在地
 - ◆ 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - ◆ 創業（設立）年月日
 - ◆ 資本金
 - ◆ 認証・登録範囲
 - ◆ 事業の規模
 - ◆ 実施体制
3. 環境経営目標とその実績
 - 3-1. 環境負荷の現状（令和4年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境経営計画と取組結果
5. 指定管理施設の環境負荷について
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果



写真左：新型コロナ禍以降、久しぶりに開催された上杉雪灯籠まつりでは、親睦会メンバーを中心に雪灯籠を製作しました。
写真右：5月3日には、こちらも久しぶりに開催された、米沢上杉まつりでは、武田軍の甲冑を着て参加いたしました。



1. 社是・経営方針・環境経営方針

社是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。



経営方針

私達は お客様感動を達成します

私達は 事故ゼロを継続します

私達は 不祥事案を撲滅します

私達は 環境方針を推進します

環境経営方針

【環境理念】

私達は、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

【環境行動指針】

1. 環境関連法規等を遵守します
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます
4. 節水に努め、水資源を大切にします
5. 化学物質の使用量を削減していきます
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します
8. 地域の環境保全活動に貢献します



制定日：平成28年6月1日
最終改定日：令和元年5月1日

株式会社イービーエム
代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要

| 事業所名 | 株式会社イービーエム | |
|-----------|--|---|
| 代表者 | 代表取締役社長 赤間 俊明 | |
| 所在地 | 本社 〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2 南陽営業所 〒992-0472 山形県南陽市宮内4641 | |
| 環境管理責任者 | 清掃業務部部长 遠藤 雅之 | |
| 担当者/連絡先 | 企画・人事部部長 田口 浩之 TEL 0238-37-5733 FAX 0238-37-2822 | |
| 資本金 | 1,000万円 | |
| 創業（設立年月日） | 1968年（昭和43年）9月25日 | |
| 認証・登録範囲 | 対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設 | |
| 事業概要 | 警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等） ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）、指定管理業務 | |
| 沿革 | 昭和43年9月 | 株式会社オールビルマネジメントとして創業ビルメンテナンス業としては県内 2番目。その後、警備保障部、設備管理部を設け、米沢市市民文化会館 の舞台操作業務を開始 |
| | 平成3年8月 | 株式会社イービーエムに改称し、現在地に移転 |
| | 平成5年7月 | 南陽市宮内に南陽営業所を開設 |
| | 平成18年4月 | 米沢市市民文化会館指定管理業務開始 |
| | 平成27年9月 | イービーエムエナジー合同会社を設立し、メガソーラーによる再生可能エネル ギー事業を開始 |
| | 平成28年12月 | エコアクション21認証登録（登録番号0011545） |
| | 平成31年2月 | 環境コミュニケーション大賞優良賞を受賞 |
| | 平成31年4月 | 山形大学白楊寮維持管理運営業務開始 |
| | 令和元年6月 | 「山形県環境保全推進賞」を受賞 |
| | 令和2年12月 | 自社生成する強アルカリイオン電解水「楽落水」として商標登録し販売を開始 |
| | 令和3年3月 | 健康経営優良法人2021に認定（2023継続認定） |
| | 令和4年12月 | エコアクション21更新完了 |

事業規模・対象範囲（認証・登録範囲）

| 事業規模 | 事業年度 | 平成28年度 (H28.4~ H29.3) | 平成29年度 (H29.4~ H30.3) | 平成30年度 (H30.4~ H31.3) | 令和元年度 (H31.4~ R2.3) | 令和2年度 (R2.4~ R3.3) | 令和3年度 (R3.4~ R4.3) | 令和4年度 (R4.4~R5.3) |
|--------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|
| 売上高（千円） | | 773,711 | 791,260 | 826,570 | 847,513 | 832,691 | 901,540 | 925,291 |
| 認証対象従業員数/全 従業員数 | | 229/263 | 234/268 | 280/280 | 280/280 | 270/270 | 270/270 | 270/270 |
| 従業員数：本社 | | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 44 |
| 従業員数：南陽営業 所 | | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 5 | 5 |
| 床面積（㎡）：本社 | | 303.9 | | | | | | |
| 床面積（㎡）：南陽 営業所 | | 101.8 | | | | | | |

※売上高は、当社会計年度（4～3月）に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。
従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。

実施体制（令和4年4月～令和5年3月）

代表者
代表取締役社長 赤間 俊明

環境管理責任者
清掃業務部部长 遠藤 雅之

内部監査役
事業統括本部長 斎藤 正則

環境事務局
□本社：田口 浩之
我彦 政孝
佐久間 水里
□南陽：営業所 嶋津 優美

副環境管理責任者
（製品・サービス関連）
□本社：企画・人事部部长 田口 浩之
□南陽：営業所所長 五十嵐 久人

指定管理施設
米沢市民文化会館
米沢市児童会館
米沢市営体育館
置賜総合文化センター
南陽市勤労者総合福祉センター

内部監査チーム
遠藤 雅之 田口 浩之 五十嵐 久人
佐久間 水里 嶋津 優美

（車両管理）
□本社：警備部 課長 飯澤 信幸
□南陽：営業所 小野 菜々恵

（省エネルギー）
□本社：設備管理部 遠藤 賢
□南陽：営業所 平井 悟

（廃棄物管理）
□本社：清掃業務部 追木 恵美
□南陽：営業所 五十嵐 俊亮

（地域貢献・環境美化・5S）
□本社：清掃業務部係長 手塚 直利
□南陽：嶋津 穂乃香

全従業員

| | 役割・責任・権限 |
|--|--|
| 代表者（社長） | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者（現場環境管理責任者）を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする ・環境活動レポートの承認 |
| 内部監査役 | <ul style="list-style-type: none"> ・内部監査チームを組織して、適切に内部監査を実施する ・監査の結果を代表者及び環境管理責任者に報告する ・内部監査員の教育を実施する |
| 内部監査員 | <ul style="list-style-type: none"> ・内部監査役の指示により、中立的な立場で、対象となる部門の内部監査を実施し、マネジメントシステムの有効性について評価し、記録を作成し、内部監査役に提出する |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成・発行 |
| 副環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐する ・それぞれの所轄（本社・南陽営業所）の環境の取組を管理する |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| EA21推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期（四半期ごと）又は環境管理責任者の招集により開催する ・推進委員会のメンバーは、正副環境管理責任者、環境事務局とし、そのときの審議事項の内容によって、代表者、内部監査役の出席を仰ぐ ・委員会の議題は、環境目標の達成状況、環境活動計画の取組状況、環境関連法規の順守状況、環境上の苦情や緊急事態への対応、内部監査の結果や審査人からの指摘事項への対応、その他、環境管理責任者が必要と判断した事項とする ・審議の結果に基づき、適切な是正予防処置を定め、関係者に指示する |
| 部門責任者 ■製品・サービス関連 ■車両管理 ■省エネルギー ■廃棄物管理 ■地域貢献・環境美化・5S | <ul style="list-style-type: none"> ・関連する環境目標ならびに環境活動計画の設定ならびに改訂の提案 ・環境活動計画の取組状況の監視ならびに指導 ・環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申 ・環境負荷削減につながる改善提案ならびに情報収集 ・取組に必要な手順書・マニュアル等の整備 ・取組に必要な環境教育の企画と実施 ・その他、担当部門の目標達成に必要な事項 |
| 施設環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設内の環境の取組を管理する ・施設内における環境負荷の削減に向けた目標と活動計画の提案 ・環境負荷データの取りまとめと報告 ・環境目標の達成状況に応じた是正策予防策の提案と実施または目標の見直しの具申 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

3. 環境経営目標とその実績（本社及び南陽営業所）

3-1. 環境負荷の現状（令和4年度環境負荷自己チェック結果より）

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、R3年度東北電力（調整後：0.521）を用いています。

1）当社における令和4年度のCO₂排出量は合計74,283kg-CO₂となっており、前年度比2.5%増加しました。これは平均的な一般家庭27軒分の年間CO₂排出量に相当します。

（令和3年度世帯平均年間排出量**2.74 t-CO₂** 出典：家庭部門のCO₂排出実態統計調査（環境省HP））

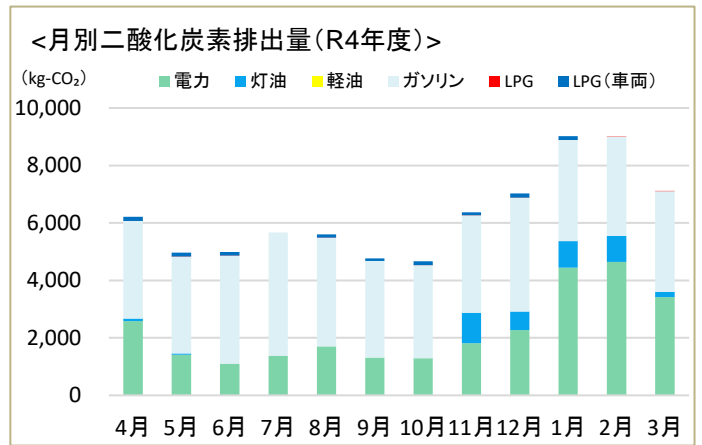
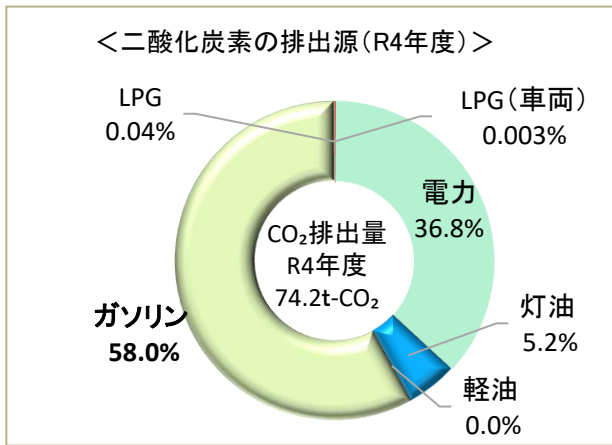
2）当社から排出されるCO₂の58%はガソリン・LPG（車両用）の消費によるもので43,064kg-CO₂（前年比2.8%増）、次いで電力の使用に伴うものが36.8%、27,364kg-CO₂（同2.7%減）、灯油の消費に伴うものが5.2%、2,375kg-CO₂（同61.6%増）などとなっています。

3）ガソリン、LPGは、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプ稼働で使用しています。また、LPGは事務所給湯用となっています。令和4年度に営業車を業務拡大のため1台増加しています。（管理施設から引き上げ）

4）月別のCO₂発生量は12月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。令和4年度は令和3年度に比して、降雪量はすくなくなりましたが、雪がまとまって降ることがあり、備えのために灯油を購入したため、灯油の使用量が増加しています。ガソリンは、月による変動にあまり特徴はありませんが7月、8月、12月、1月が多い傾向にあります。これは、冷房、暖房を使用しているためです。

令和2年度行った本社のリフォームによって灯油による暖房から省エネタイプエアコンに切り替えを行いました。

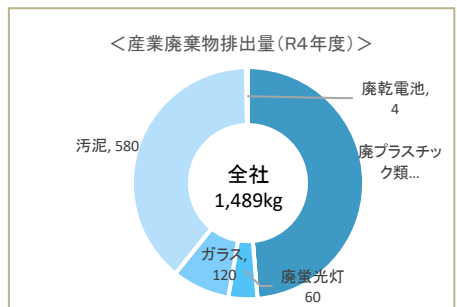
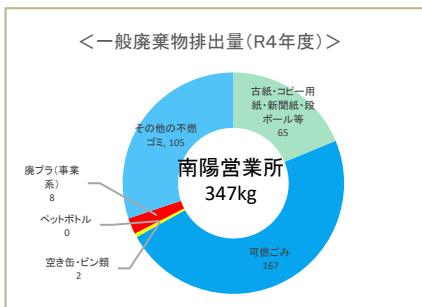
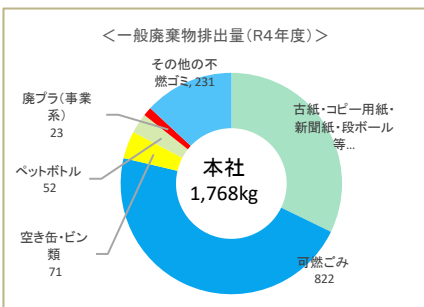
5）以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減、冬期間の暖房使用及び、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



■ 廃棄物排出量

1）一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社822kg、南陽167kg、次いで紙類（再生資源）が本社569kg、南陽65kgなどとなりました。なお、リサイクル率は本社40.4%、南陽49.0%でした。

2）産業廃棄物：廃プラスチックが最も多く、全体の約50%（725kg）を占めており、次いで汚泥（ワックス剥離液・洗剤廃液等）が38%（580kg）となりました。その他の廃棄物については、蛍光灯、乾電池、ガラスなどがありました。



■ 総排水量（水使用量）

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社、南陽合わせて、665m³使用しました。前年比5.4%減少しました。なお、放流先は本社は公共用水域（浄化槽）、南陽営業所は下水となります。

■ 化学物質使用量（購入量）

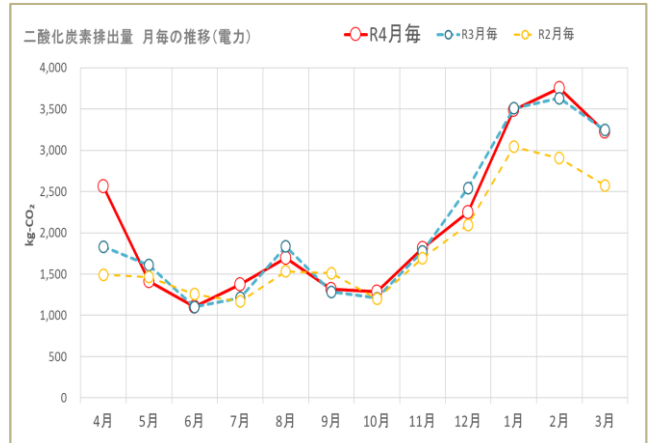
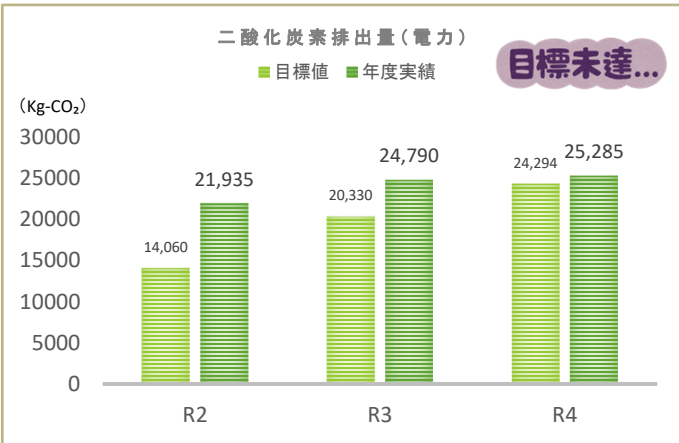
清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものを使用していましたが、令和3年度に引き続き、令和4年度もPRTR成分を含有している洗剤、及び剥離剤は使用していません。

3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、6項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、製品・サービス関連）について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた環境活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【R4年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）R3年度比2%削減
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比10%削減（南陽）R3年度比8%削減



【取組結果】（取組期間：R4.4~R5.3）

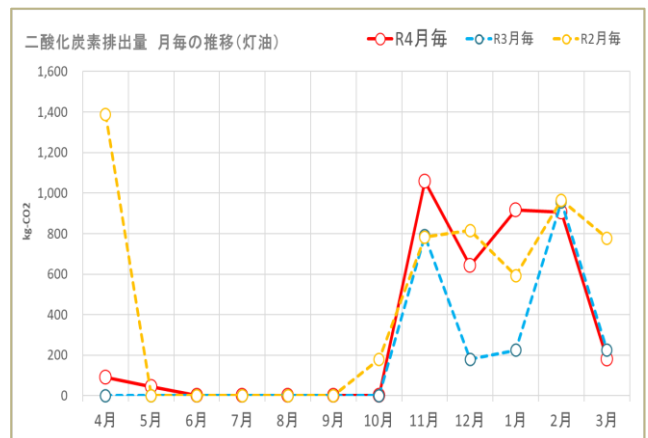
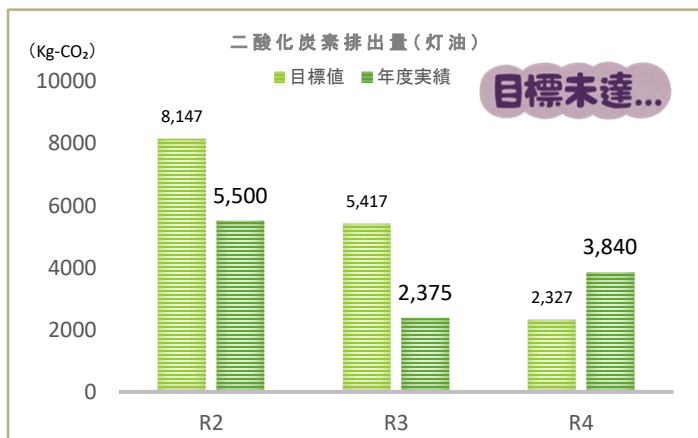
- 基準年度実績：24,790kg-CO₂
- 取組期間目標：24,294kg-CO₂
- 取組期間実績：25,285kg-CO₂
- 増減量：+495kg-CO₂
- 増減率：+1.9%

【取組評価】

- ・新型コロナ禍になり、非接触型の電灯を設置するなど、節電に心掛けましたが、低圧電力の使用量が増加しているため、エアコン使用量が増えていることが分かります。
- ・新型コロナが落ち着いて来て、来客が増えたことや、社員研修で屋外プレハブを使用する機会が増えたこともあり、目標は達成出来ませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【R4年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）R3年度比2%削減
 【中期目標（R3~R7）】（本社）R3年度比10%削減（南陽）R3年度比5%削減



【取組結果】（取組期間：R4.4~R5.3）

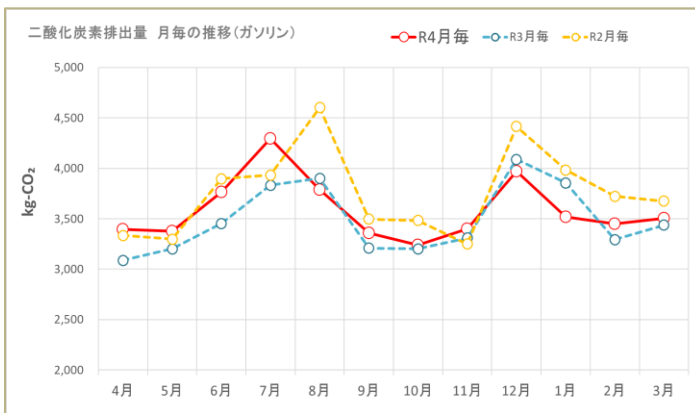
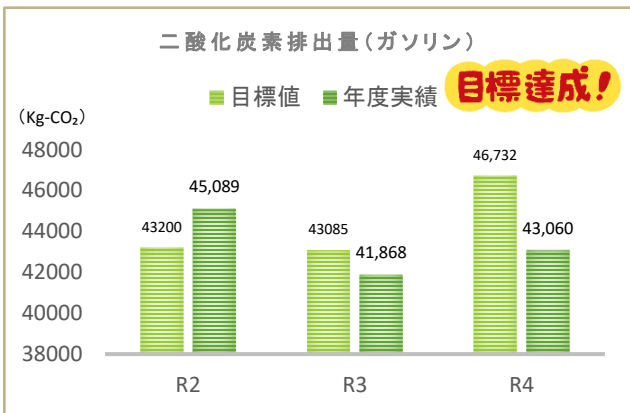
- 基準年度実績：2,375 kg-CO₂
- 取組期間目標：2,327kg-CO₂
- 取組期間実績：3,840kg-CO₂
- 増減量：+1,465kg-CO₂
- 増減率：+61%

【取組評価】

- ・暖冬であったものの、まとまった降雪があり、そのため、防災のために灯油を補充したことで、使用量（購入量）が増加しています。
- ・南陽営業所では、サービス支援課の業務でアパート清掃の機会が増え、翌日までに洗濯物を乾燥させる必要があり、ファンヒーターの使用が増えました。そのため、灯油使用量が増加したこともあり、目標達成出来ませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【R4年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）R3年度比2%削減
 【中期目標（R3～R7）】（本社）R3年度比6%削減（南陽）R3年度比8%削減



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

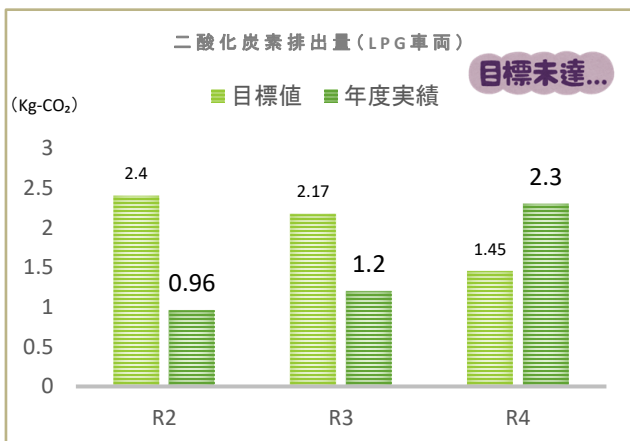
- 基準年度実績：47,686 kg-CO₂※
 - 取組期間目標：46,732kg-CO₂
 - 取組期間実績：43,060kg-CO₂
 - 増減量：-4,626kg-CO₂
 - 増減率：-9.7%
- ※昨年度実績の1台あたりのCO₂排出量より積算した実績

【取組評価】

- ・今年管理施設から1台、南陽営業所から1台本社に配置し、車両の使用状況が変わったため目標値の是正を行いました。
- ・昨年度燃費の良い車両に切り替えたことで、使用量を削減することができました。
- ・エコドライブの意識も高まっていると思われます。
- ・夏は暑かったため、冷房を使う機会が増えましたが、暖冬だったことで、暖機運転の機会も少なかったこともあり、目標を達成出来ました。

■ 二酸化炭素排出量（LPG車両）

【R4年度目標】（本社）R1年度比40%削減（南陽）なし
 【中期目標（R3～R7）】（本社）R1年度比40%削減を維持（南陽）なし



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

- 基準年度実績：2.4kg-CO₂
- 取組期間目標：1.45kg-CO₂
- 取組期間実績：2.3kg-CO₂
- 増減量：-0.1kg-CO₂
- 増減率：-4.1%

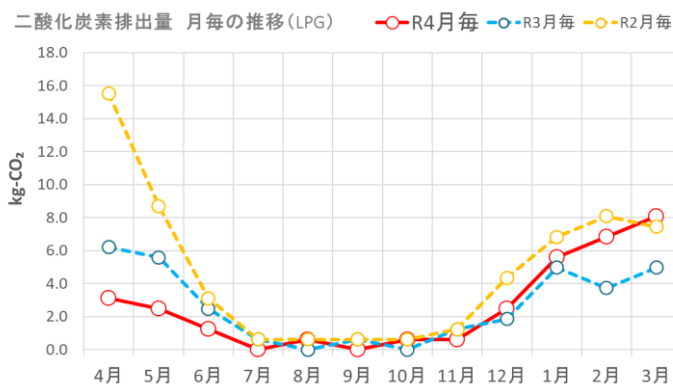
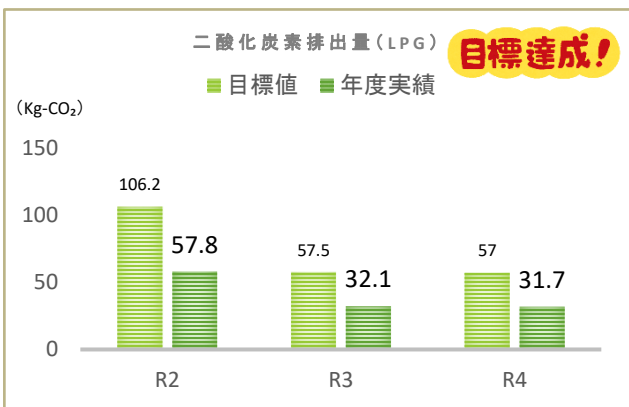
【取組評価】

- ・昨年度に比べて、大きな機材や資機材を大量に、安全に運ぶための、リフター付き車両の需要が高まりました。
- ・研修で使用する機材や、ゴミや、文化会館での催事で必要なものを運ぶ機会も増加しました。
- ・1月以降は、修理に出していたため使用がありませんでしたが、全体的に使用頻度が高まったため、目標達成できませんでした。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【R4年度目標】(本社) H27年度比77%削減(南陽) H27年度比85%削減

【中期目標(R3~R7)】(本社) H27年度比77%削減維持(南陽) H27年度比85%削減維持



【取組結果】(取組期間: R4.4~R5.3)

- 基準年度実績: 308kg-CO₂
- 取組期間目標: 57.2kg-CO₂
- 取組期間実績: 31.7kg-CO₂
- 増減量: -276kg-CO₂
- 増減率: -89%

【取組評価】

- ・ガスの元栓を締めることを徹底しましたが、感染症対策のため、手洗いをする際、お湯を使用する機会が増えたため、冬期間は増加しています。また南陽営業所では、アパート清掃のため、お湯を持っていく機会が増えたことで、使用量が増加しています。
- ・必要最低限の使用を心がけたことで目標達成することが出来ました。

従業員とその家族で『家庭のアクション』にチャレンジ! ~目指せ! カーボンニュートラル~

山形県地球温暖化防止活動推進センター主催の『家庭のアクション』に従業員(当時)259名中37名が参加しました。『家庭のアクション』とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減のため、県民みんなで取り組む活動です。家庭のできるアクションという前提があるため、比較的簡単な内容ばかりでした。項目ごとに1人1日当たりのCO₂削減効果を推算しました。結果は下記のとおりです。

| 順位 | 項目 | 1人1日当たりのCO ₂ 削減効果(g) | 実施人数(従業員家族含む) | total(92日間) | 割合(%) |
|----|--|---------------------------------|---------------|-------------|-------|
| 1 | 電気冷蔵庫の開閉回数は少なくする。また、開閉時間は短くする。 | 5 | 104 | 47,840 | 0.2% |
| 2 | 省エネ 使用しない部屋の照明はこまめに消す。 | 2 | 126 | 23,184 | 0.1% |
| 3 | 節電 冷房、暖房は、適切な温度で使用する。 | 55 | 104 | 526,240 | 1.7% |
| 4 | シャワーを流したままにしない。 | 79 | 124 | 901,232 | 3.0% |
| 5 | エコドライブを行う。(例えば、発進時はふんわりアクセルでゆっくりスタートする、車間距離にゆとりをもって加速減速の少ない運転をする)※車1台1日当たりの削減量 | 717 | 109 | 7,190,076 | 23.6% |
| 6 | 電化製品を買い換えるときは省エネタイプのもを選ぶ。 | 140 | 87 | 1,120,560 | 3.7% |
| 7 | クール 自動車を購入する際には、エコカーを選ぶ。 | 0 | 51 | 0 | 0.0% |
| 8 | チョイス 住宅の省エネリフォームをする。(内窓の設置など) | 569 | 13 | 680,524 | 2.2% |
| 9 | イス 宅配便は1回で受け取るようにする。 | 470 | 69 | 2,983,560 | 9.8% |
| 10 | COOL CHOICE(クールチョイス)に賛同し、地球温暖化防止の行動に取り組む。(COOL CHOICEとは、脱炭素社会に貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていく取組です) | 0 | 56 | 0 | 0.0% |
| 11 | カーボン 太陽光発電パネルや木質バイオマス燃焼機器などの再エネ機器を設置する。 | 1,756 | 9 | 1,453,968 | 4.8% |
| 12 | ニュートラル エコ商品・リサイクル製品の購入、地産地消、CO ₂ 排出の少ない電力の選択などの「エンカル消費」に取り組む。 | 0 | 47 | 0 | 0.0% |
| 13 | 自動車を購入する際には、電気自動車やPHV、燃料電池自動車(FCV)などを選ぶ。 | 0 | 19 | 0 | 0.0% |
| 14 | 「ゼロエネルギー住宅」や「やまがた健康住宅」など断熱性の高い住宅に住む。 | 0 | 15 | 0 | 0.0% |
| 15 | 植樹や間伐体験など森を守る活動を行う。 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 16 | 郵送にかかるエネルギーを少なくするよう、できる限り地元産の商品を選ぶ。 | 0 | 62 | 0 | 0.0% |
| | | 削減されたCO ₂ 量 | | 14,927,184 | g |

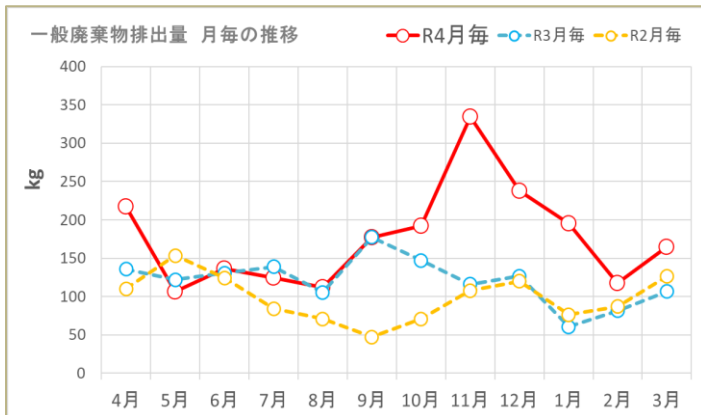
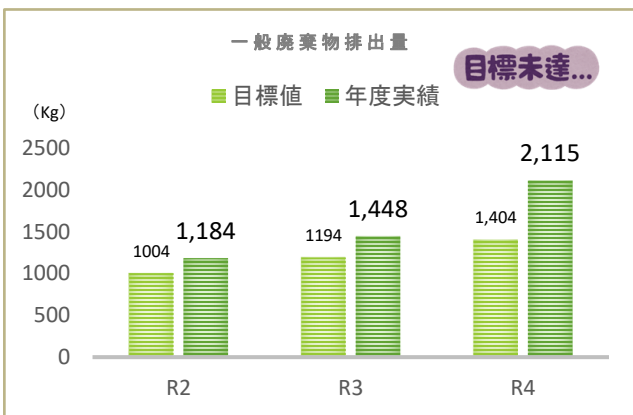
①CO₂削減量 14,927,184 g → 14,927.184kg
 ②CO₂削減量を杉の植樹本数に換算(杉は1本当たり1年間14kg-CO₂のCO₂を吸収すると言われています)
 $14,927.184 \div 14 = 1066.227... \approx 1066$ (本)
 ③広さに換算(1ha(10,000m²)当たりの杉の植樹本数は約3,110本)
 $1066 \div 3,110 = 0.342765... \approx 0.342$ (ha) = 3,420m²

今回の活動で削減出来たCO₂排出量を杉の植樹本数に換算すると、約1066本になります。
 (※杉1本当たり年間14kg-CO₂を吸収すると言われています)
 これは、バスケットコート約8面分の広さに杉を植えたことになります。
 (※バスケットコート面積: 420m²)
 従業員数約14%が、家庭でできるちょっとした気遣い(アクション)を、たった3ヶ月間実施しただけでこれだけの結果に...これが、従業員全員が、毎日実施したならば、何倍もの結果に結びつくと考えられます。



■ 一般廃棄物排出量

【R4年度目標】（本社）R3年度比2%削減（南陽）H28年度比48%削減
 【中期目標（R3～R7）】（本社）R3年度比8%削減（南陽）H28年度比48%削減維持



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

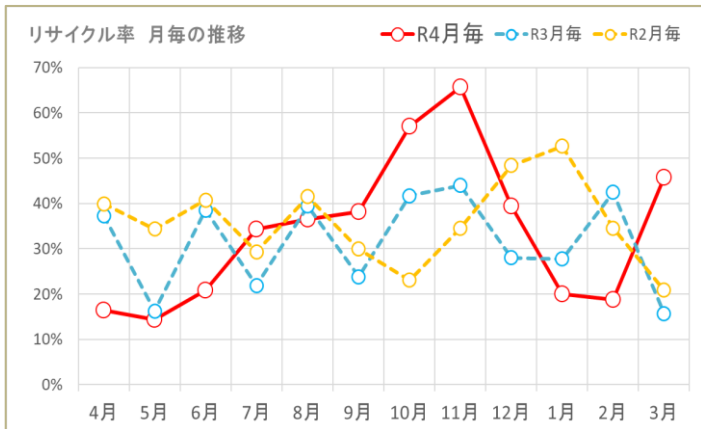
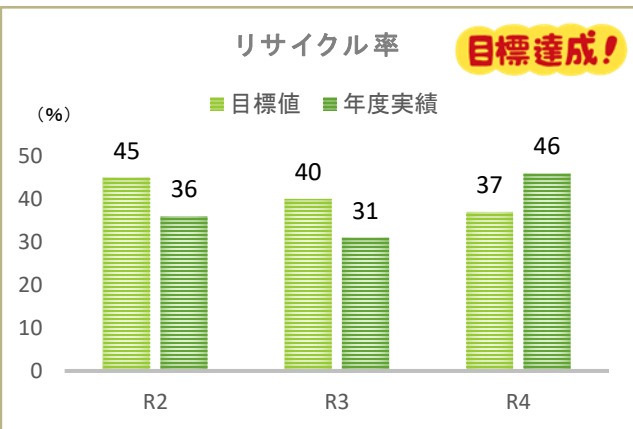
- 基準年度実績：1,599kg
- 取組期間目標：1,404kg
- 取組期間実績：2,115kg
- 増減量：+556kg
- 増減率：+34%

【取組評価】

- ・ゴミの持ち帰りを徹底し、ゴミの削減意識は高まっています。
- ・南陽営業所のサービス支援課でアパート清掃の際に排出されるお客様のゴミが増えてしまいました。
- ・昨年度まで計上していなかった古紙の排出について、今年度から計上するようにしたことで排出量が増加したため、目標を達成出来ませんでした。

■ リサイクル率

【R4年度目標】（本社）31%（南陽）44% 全社37.5%
 【中期目標（R3～R7）】（本社）36%（南陽）45%



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

- 取組期間目標：31%
- 取組期間実績：46%
- 増減量：+15%

【取組評価】

- ・排出量は増加しましたが、分別を徹底することで、リサイクル率は向上し、目標を達成することが出来ました。

■ 化学物質使用量（PRTR対象物質）



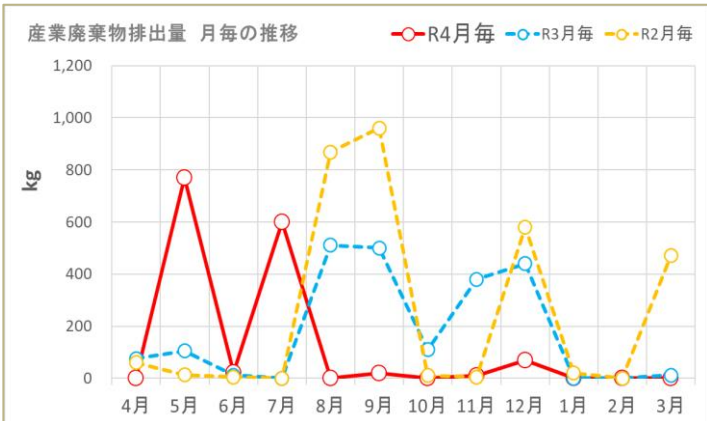
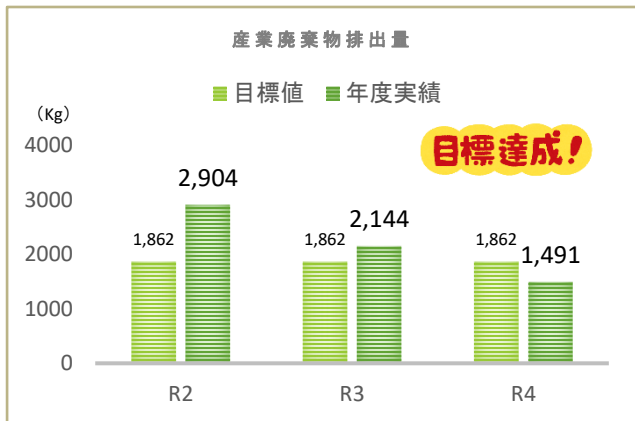
【取組評価】

- ・清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤は化学物質を一切含まない製品に切り替えを進め、令和2年度に**全て化学物質を含まない製品への切り替えを完了**しております。
- ・新しく導入する製品は必ずSDSをメーカーから取り寄せ、化学物質含まないことを確認するように留意します。

■ 産業廃棄物排出量

【R4年度目標】（本社）H27年度比40%削減（南陽）本社で一括管理のためなし

【中期目標（R3～R7）】（本社）H27年度比40%削減維持



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

- 取組期間目標：1,862kg
- 取組期間実績：1,491kg
- 増減量：-371kg
- 増減率：-52%

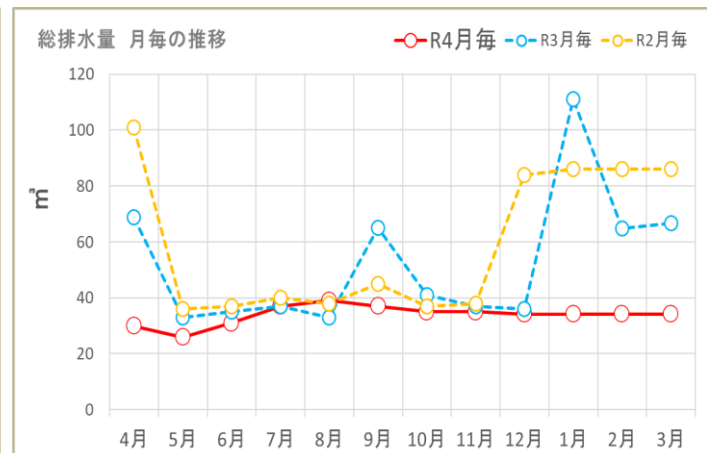
【取組評価】

- ・5月、7月はワックスの剥離作業がピークとなっております。
- ・令和4年度は、12月以降の産業廃棄物の排出がありませんでした。
- 結果、目標を達成出来ました。

■ 総排水量

【R4年度目標】（本社）R2年度比10%削減（南陽）R2年度比10%削減

【中期目標（R3～R7）】（本社）R2年度比10%削減維持（南陽）R2年度比10%削減維持



【取組結果】（取組期間：R4.4～R5.3）

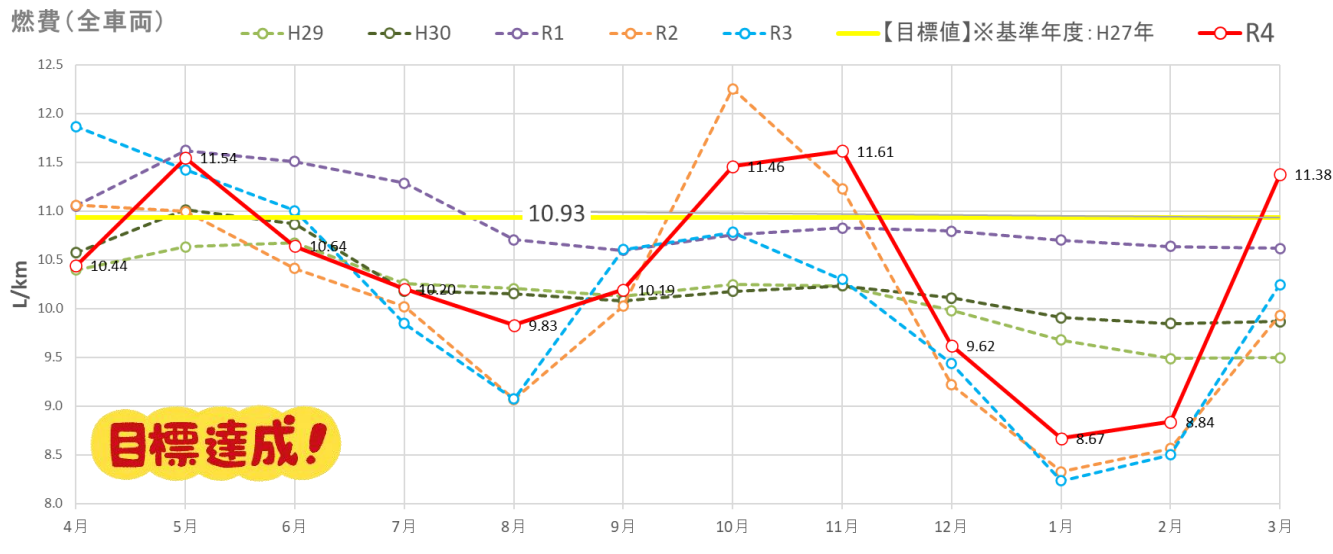
- 基準年度実績：714kg
- 取組期間目標：642kg
- 取組期間実績：406kg
- 増減量：-308kg
- 増減率：-43%

【取組評価】

- ・節水の意識が浸透し、使用量が減少しています。本社でアイスコーヒーサーバーを導入し一時使用量は増加しました。
- ・南陽営業所の業務形態が変更になり、滞在人数が減り、その分、水道使用量も減少しました。
- ・冬期間の検針は出来ないため、暫定の数値ではありますが、4月の精算値（4月分を合わせて204ml）を確認し目標を達成することが出来ました。

■ 車両燃費

【R4年度目標】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上
 【中期目標（R3~R7）】（全社）基準年度H27年度より30%燃費向上維持



【取組結果】（取組期間：R4.4~R5.3）

- 基準年度実績：8.41km/ℓ
- 取組期間目標：10.93km/ℓ
- 取組期間実績：11.38km/ℓ
- 増減量：2.97km/ℓ 向上

【取組評価】

- ・燃費の良い車両への入れ替えを行ったこと、エコドライブの意識が浸透したことにより、燃費は向上しました。
- ・夏は蒸し暑い日が多く、燃費が下がったものの、例年よりは悪化しませんでした。
- ・暖冬だったこともあり、暖機運転の機会が減り、燃費が向上しました。よって、目標を達成することが出来ました。

社有車 E-1GP



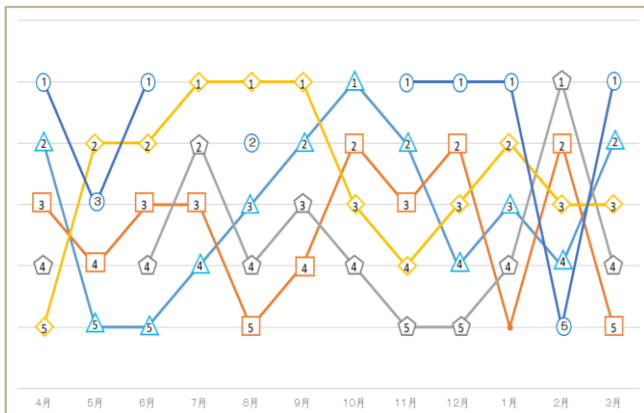
2022-2023



社有車E-1GPとは エコドライブを全従業員に周知するため、広報誌面において、社有車の燃費を毎月集計し、その月の燃費の良かった順位ベスト5を発表しています。毎年その順位にポイント（例4月1位5点）を付けて集計し、年間の高燃費車両を勝手に表彰するものです。

| 順位 | 種別 | 所属 | 登録年月 | 獲得ポイント |
|----|-------------|-------|---------|--------|
| 1位 | 日産刈刈 - (南3) | 南陽営業所 | 令和元年8月 | 42pt |
| 2位 | 日産刈刈 (業7) | 清掃業務部 | 平成27年2月 | 38pt |
| 3位 | 日産刈刈 - (設3) | 設備管理部 | 平成30年8月 | 35pt |
| 4位 | 日産刈刈 - (業5) | 清掃業務部 | 平成30年8月 | 31pt |
| 5位 | 日産刈刈 - (設4) | 設備管理部 | 令和元年8月 | 26pt |

- △ 設備3号車
- 業務5号車
- ◇ 設備4号車
- ◇ 南陽3号車
- 業務7号車



令和4年度エコドライブオブサイヤーに輝いたのは南陽営業所の日産刈刈パー南陽3号車で獲得ポイントは42ポイントでした。昨年度に引き続き、2連覇です。おめでとうございます。続く2位は清掃業務部の日産デイズで、38ポイントでした。上位5台の中では、古い車両になってしまいましたが、まだまだ健在です。また、3位は昨年に引き続き設備3号車でした。4位と5位は昨年と順位が入れ替わり、4位業務5号車、5位設備4号車でした。ここ何年かはこの5台のデッドヒートが続いています。全体の燃費に関しては、目標値の10.93km/Lを大きく越える11.38km/Lでした。皆さんのエコドライブのおかげです。引き続き、安全にエコドライブをお願いします。

【確定版】

令和4年度 環境経営目標達成状況

◎：達成率100% ○：70～99%達成
△：達成率1～69% ×：削減無（増加した）

| 本 社 | | | | | | | | R4 |
|--|---|---|---|---|---|---|---|----------------------|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | R4 環境経営目標達成 状況 |
| ジョウスイシヨウ （上水使用量） | リサイクルリツ （リサイクル率） | イッパンハイキブツ （一般廃棄物） | エルピージー （灯油） | | エルピージーシャ リヨウ （LPG車両） | ガソリン | デンリョクシヨウ （電力使用） | |
| ◎ | ◎ | × | ◎ | × | △ | ◎ | × | 評価 |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 写真 |
| 329 m ³ | 40% | 1768 kg | 26.1 kg-CO ₂ | 2584 kg-CO ₂ | 2.3 kg-CO ₂ | 40691 kg-CO ₂ | 22546 kg-CO ₂ | 実績値 |
| 500 m ³ | 31% | 1220 kg | 31.6 kg-CO ₂ | 1404 kg-CO ₂ | 1.45 kg-CO ₂ | 43606 kg-CO ₂ | 21059 kg-CO ₂ | 目標値 |
| アイスコーヒーを導入したことにより一時使用量が増加したが節水をこころがけた | ゴミの分別を徹底したこと、紙類の排出量が増えた | ゴミの持ち帰りを徹底していたが、作業着の切替に伴う廃棄と、管理施設からの書籍の処分が増加した | 感染対策の手洗いに より給湯器の使用頻度が増えたが、元栓は使用時のみ開け、常時締めるよう徹底した | 暖冬ではあったが、まとまった降雪となつたため、防災の観点からこまめに給油していた | 使用頻度が高まった。修理に出していたため後半は使用出来なかった | 基準年度から使用する台数が増加しているため、目標値を見直した。エコカーへの移行、エコドライブが浸透した | 研修や来客対応でプレハブを使用する頻度が増加した。こまめな節電は心がけていたが目標を達成出来なかった | 短評 |

（令和4年4月～令和5年3月）
本 社

年間レポート

令和4年度の結果が確定いたしました。エコアクション21の3つの削減、CO₂排出量の削減、ゴミの削減、水使用量の削減です。令和4年度のCO₂排出量は74,283kg-CO₂で前年比2.5%増

となりました。ゴミの排出量は一般廃棄物2,031kgで前年比35%となりました。一方でリサイクル率は全社で37.4%で目標まであと少しでしたが、前年より大幅に改善しています。産業廃棄物は1,489kgで前年比39%減でした。水の使用量は407tで前年比54%減となりました。

| 全社共通 | | 南陽営業所 | | | | | | | R4 | |
|---|---|---|---|---|---|--|---|---|--|-------|
| 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | R4 環境経営目標達成状況 | |
| サンギョウハイキブツ （産業廃棄物） | シャリョウネンビ （車両燃費） | ジョウスイシヨウ リヨウ （上水使用量） | リサイクルリツ （リサイクル率） | イッパンハイキブツ （一般廃棄物） | エルピージー | トウユ （灯油） | ガソリン | デンリョクシヨウ （電力使用） | | 目標項目名 |
| ◎ | ◎ | ◎ | × | △ | ◎ | × | ◎ | ◎ | 評価 | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | 写真 | |
| 1491 kg | 11.38 km/l | 77.8 m ³ | 22% | 347 kg | 5.6 kg-CO ₂ | 1256 kg-CO ₂ | 2369 kg-CO ₂ | 2739 kg-CO ₂ | 実績値 | |
| 1862 kg | 10.93 km/l | 142 m ³ | 41% | 184 kg | 25.6 kg-CO ₂ | 923 kg-CO ₂ | 3126 kg-CO ₂ | 3235 kg-CO ₂ | 目標値 | |
| 冬期間の排出がゼロだった | エコドライブの浸透とエコカーへの切替をすすめている | 現場作業が増えたため、営業所にいる人数が減少している | アパート清掃でリサイクルゴミも含めた客先のゴミの持ち帰りによりリサイクル率が上がった | 本社同様ゴミの持ち帰りを徹底したがアパート清掃の機会が増え現場で使用した清掃資材のゴミが増加した | 湯掃でお湯を持つていくことが増えたが給湯温度のルールを徹底した | 乾燥が必要があり灯油ストーブを多く使用した | アパート清掃が増え、翌日までに洗濯物を乾かす必要があり灯油ストーブを多く使用した | 本社同様使用台数の変更により目標を変更したがエコドライブ、暖冬だったことで余計な暖機運転が減った | 現場作業が増えたことや洗濯物を乾かすためストーブを使用していたことでエアコン使用が減った | 短評 |

（令和4年4月～令和5年3月）
南陽営業所

■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ・・・スキルアップ研修会の実施

私達は、専門的な知識と技術を活用し、不便を便利に、不安を安心に、不潔を清潔に、「不」を取ることが使命であり、そのためには技術・知識の向上は絶対条件になります。当社でサービスの質を向上させるために徹底しているのは社員教育です。当社には充実した社員研修や社内資格制度があり、未経験者でもプロの技術を身に付けることができます。例えば、清掃の研修では受講生7名に対して講師はマンツーマンに近い形で対応し、実践的な教育を行っています。指導するのは資格を持ち、各協会で指導員を務めるような先輩社員です。一つ一つ具体的なポイントを押さえて指導しているのでサービスの品質が高まっていきます。社内資格制度では、国家資格である「ビルクリーニング技能士」の取得を目指して段階的に技術を身に付けることができるようになっています。また、業務で必要な資格取得のサポートをするために、資格を持っていなくても資格手当を支給する資格取得補助制度もあります。私達の目的はお客様感動の先にある、「この仕事はエーピーエムにしか頼めないね」と言われるカスタマーロイヤリティです。その実現のための人材育成に注力しています。

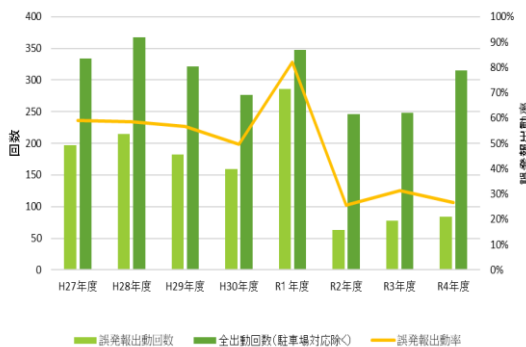
R4年度 主な研修

| |
|-----------------------|
| 清掃従事者研修(年1回) |
| 警備員現任者教育(年1回) |
| 技術講習会(年1回) |
| 新人研修(年2回) |
| CD研修(コロナで実施出来ず) |
| KYT(危険予知トレーニング)(毎月1回) |
| エコドライブ研修(年1回) |
| 社内資格制度(年1回)希望者 |
| 健康セミナー(年1回) |

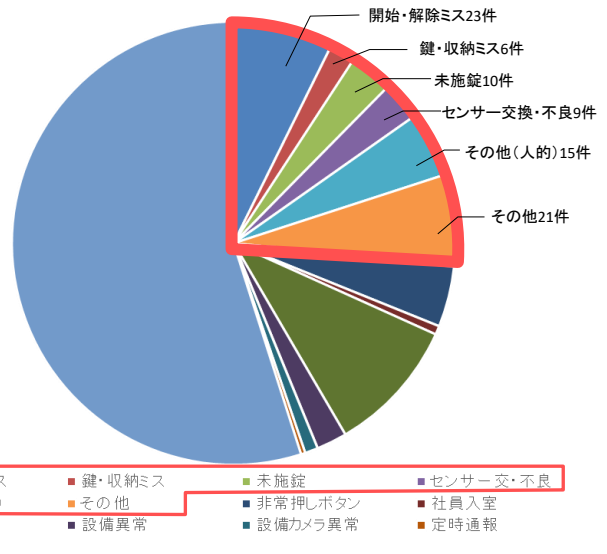


2) 人的ミス、機器不良による緊急出動回数を減らす(発生件数の把握及び原因分析)

誤発報出動率



令和4年度発報出動の内訳(駐車場は除く)



【取組結果】(取組期間：R4.4~R5.3)

- 取組期間目標：25%
- 取組期間実績：26.7%
- 増減量：+1.17%

【取組評価】

- ・出動件数は、昨年度比+67件、誤発報件数は+6件といずれも増加しております。
- ・開始・解除ミスによる発報は前年度比-21件で改善しています。
- ・キーボックスにマスターキー等をしまう際に失敗してしまう鍵収納ミスによる発報が昨年度より+3件となりました。
- ・センサーの定期的な点検や、お客様には操作方法の説明を丁寧に行うことで、誤発報を減らしてまいります。

4. 環境経営計画と取組結果

【評価判定の目安】

- …実施済。80%以上の社員が取り組んでいる。80点以上の満足度である
- △…一部未実施。50～80%の社員が取り組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取り組んでいない。50点未満の満足度である

■ 二酸化炭素排出量の削減

| 消費電力の削減 | 取組状況 | 備考 | 消費電力の削減 | 取組状況 | 備考 |
|-------------------------|------|----|------------------------|------|----|
| 室温は暖房期20℃、冷房期28℃で管理 | △ | | クールビズ、ウォームビズの推進 | ○ | |
| サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす | ○ | | 窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ | ○ | |
| 使用していない部屋のエアコンはOFF | ○ | | 窓に緩衝材を貼り付け | ○ | |
| 定期的にエアコンのフィルターを清掃 | ○ | | 電力使用量の見える化（環境負荷データの揭示） | ○ | |
| 不要な照明は消灯 | ○ | | | | |

| ガソリンの使用量の削減 | 取組状況 | 備考 | ガソリンの使用量の削減 | 取組状況 | 備考 |
|------------------------|------|--------|-----------------|------|----------|
| エコドライブの教育研修 | ○ | | 適切な時期でのタイヤ交換 | ○ | 4月、11月実施 |
| 燃費・走行距離の把握 | ○ | | 適切な空気圧の維持 | ○ | |
| 5000 km（6ヶ月）ごとにオイル交換 | ○ | 定期点検実施 | エコタイヤの導入 | ○ | |
| 10000 km（1年）ごとにエレメント交換 | ○ | 定期点検実施 | 不要な荷物を載せたままにしない | ○ | |
| 業務の効率化（運行ルートの管理） | ○ | | 計画的な低燃費車両への入れ替え | ○ | |

| 灯油・LPGの削減 | 取組状況 | 備考 | 灯油・LPGの削減 | 取組状況 | 備考 |
|---------------------|------|---------|-----------------------|------|----|
| 暖房温度は決められた温度以下で管理する | △ | 断熱性能が低い | ウォームビズの徹底 | ○ | |
| 窓の内側に緩衝材を貼り付ける | ○ | | 必要最低限の温度で給湯（夏季は使用しない） | ○ | |

■ 廃棄物排出量の削減と適正管理

| 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進） | 取組状況 | 備考 | 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進） | 取組状況 | 備考 |
|------------------------|------|----|--------------------|------|----|
| 廃棄物置場の整理整頓 | ○ | | 一般廃棄物の排出量記録 | ○ | |
| 不要な資料・カタログ等の辞退・返却 | ○ | | 社内の整理整頓 | ○ | |
| コピー用紙削減（両面コピー、裏紙利用の徹底） | ○ | | | | |

| 産業廃棄物の削減と適正管理 | 取組状況 | 備考 | 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進） | 取組状況 | 備考 |
|--------------------|------|----|--------------------|------|---------|
| 保管場所の管理（安全衛生状態も含む） | ○ | | 委託先の状況確認 | × | コロナ禍のため |
| マニフェスト・契約書類の管理 | ○ | | | | |

■ 化学物質管理

| 対象化学物資の管理 | 取組状況 | 備考 | 対象化学物資の削減 | 取組状況 | 備考 |
|------------------------|------|------------|--------------------|------|----|
| SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握 | - | R2全ての商品を切替 | 対象化学物質含有量の少ない製品の選定 | - | |
| 清掃方法の改善 | 取組状況 | 備考 | | | |
| 化学物質を使用しない清掃手法の検討・情報収集 | - | | | | |

■ 総排水量の削減

| 水道使用量の削減 | 取組状況 | 備考 | 水道使用量の削減 | 取組状況 | 備考 |
|--------------------|------|----|-------------------|------|--------|
| 「節水」の掲示 | ○ | | 地下水の適正利用基準の策定と遵守 | ○ | 積雪センサー |
| 蛇口元栓の調整（必要最小限の流量量） | ○ | | その他節水対策機器に関する情報収集 | ○ | |

■ その他

| 社員のスキルアップ | 取組状況 | 備考 | 誤発報による緊急出動回数を減らす | 取組状況 | 備考 |
|-------------|------|--------|------------------|------|----|
| 資格取得者の増加 | ○ | | 機器点検の実施 | ○ | |
| 社内研修会の開催 | △ | コロナで中止 | 異常発報件数の把握 | ○ | |
| テキスト参考書購入補助 | ○ | | 対策の検討 | ○ | |

5. 指定管理施設の環境負荷について

5-1. 環境負荷の現状（令和4年度環境負荷自己チェック結果（指定管理）より）

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数について、置賜総合文化センターのみR3年度東北電力（調整後：0.521）を用いています。その他の施設の電力は実質CO₂排出ゼロジオエネ電気レギュラー（サミットエナジー）より供給されており、CO₂排出ゼロとなっております。※ページ下段参照。

1) 指定管理施設における令和4年度のCO₂排出量は合計349,017kg-CO₂となっており、前年度比64%減少しました。これは平均的な一般家庭127軒分の排出量に相当します。

（令和3年度世帯平均年間排出量2.74 t -CO₂ 出典：家庭部門のCO₂排出実態統計調査（環境省HP））

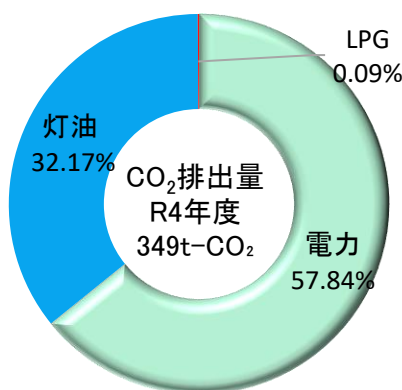
2) 指定管理施設から排出されるCO₂の57.8%は電力の使用に伴うもので201,887kg-CO₂（前年比45.5%減）、次いで灯油の消費に伴うものが32.1%、112,269kg-CO₂（前年比15%増）などとなっております。

3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっております。令和4年2月より、実質CO₂排出ゼロのジオエネ電気レギュラーに切り替えたため、電力によるCO₂排出している施設は置賜総合文化センターのみとなります。

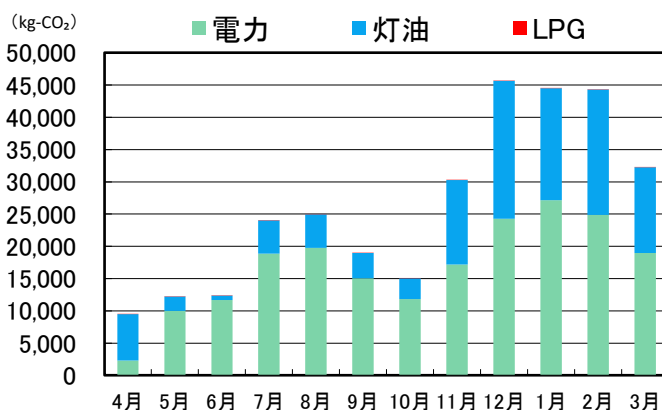
4) 月別のCO₂発生量は7月、8月の夏期間と11月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ（市営体育館）などそして、主に暖房として灯油などの消費量が増加するためです。

5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題となります。施設の照明のLED化を引き続き進めてまいります。置賜総合文化センター以外の施設は、実質CO₂排出ゼロの電力に切り替えましたが、置賜総合文化センターは指定管理者であるものの、米沢市教育委員会を始め、外郭団体が入居しており、電気契約も米沢市です。指定管理者だけの努力では使用量を削減することが出来ないため、入居者や利用者の理解と協力が必須となります。

＜二酸化炭素の排出源（R4年度）＞



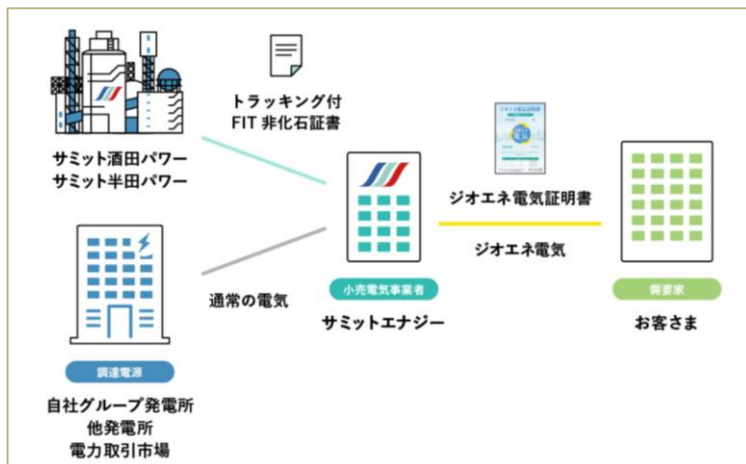
＜月別二酸化炭素排出量（R4年度）＞



ジオエネ電気レギュラーとは、当社が複数の発電所から調達する電気に、自社グループのバイオマス発電所からのトラッキング付き(※1)FIT非化石証書を組み合わせることで、実質的に「100%再生可能エネルギー」としたCO₂排出ゼロの電気の供給を可能としたメニューです。

ジオエネ電気レギュラーは、自社グループのサミット酒田パワーバイオマス発電所/サミット半田パワーバイオマス発電所からのトラッキング付き非化石証書を活用した電気を供給し、お客さま向け証書(ジオエネ電気証明書)を発行します。

https://www.summit-energy.co.jp/co2free/geoene_regular/ 引用



対応出来る制度・取組み...

温対法

RE100

SBT

CDP

■ 廃棄物排出量

■ 一般廃棄物：可燃ごみ、紙類（資源回収対象）などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。紙類（再生資源）が最も多く3079kg、次いで可燃ごみが3009kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が2182kgと約7割を占めています。全体でのリサイクル率は49.5%と昨年より下がってしまいました。

■ 産業廃棄物：総排出量の98%が汚泥でした。次に多かったのは、廃蛍光灯で1.6%でした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないのですが、市営体育館はそのうち23kg（65%）を占めていました。文化センターでは米沢市のゴミのルールに従い、蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

社会貢献活動

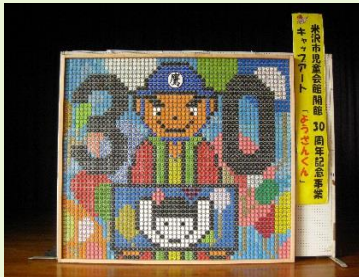
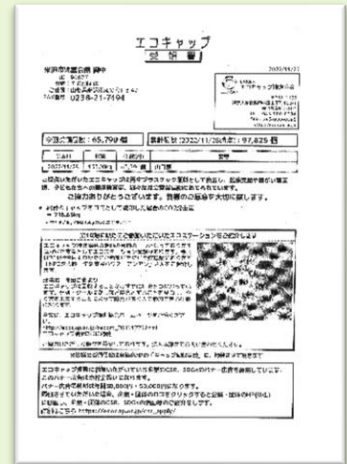


エコキャップ推進運動について

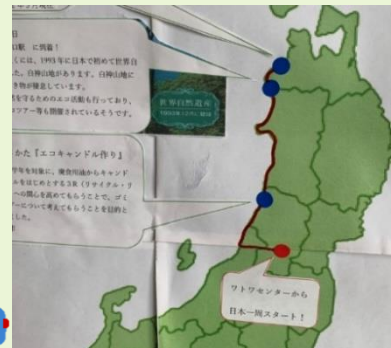
米沢市児童会館では、平成25年に開館30周年を記念してペットボトルのキャップを使ったキャップアートを作成したことをきっかけに、毎年、ペットボトルキャップを集めてNPO法人エコキャップ推進協会に提供しております。

エコキャップ運動は、リサイクルの促進、CO₂の削減、売却益で発展途上国の医療支援の発足時は3つの目的でしたが、リサイクルの過程で雇用創出ができることがわかり、現在はこの3つの目的に加えて、障がい者・高齢者雇用促進などの4つの目的となっています。

<https://ecocap.or.jp/katudo>/<https://ecocap.or.jp/katudo/>引用



南陽市勤労者総合福祉センターでは、キャップ430個を燃やすと3150gのCO₂が発生するところを目を付けて、この時に排出される二酸化炭素を、燃費8.33km/Lの車（日本保有車両の平均燃費）で同じ量の二酸化炭素を排出して走行したと仮定し、走行距離を計算します。日本地図上に走行距離を記録していきます。スタートはワトワセンターが位置する山形県南陽市、そこから海沿いを走行していきます。現在の到達地点で行われている地域の環境に関するエコ活動情報を調べ、地図上に記載することで、ご利用者様に環境情報も発信しています。集めたペットボトルキャップは、南陽市内の学校の収集に協力するため、提供しています。



■ 総排水量（水使用量）

市営体育館、文化センターで融雪のため地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、全て生活用水となります。総合計4,478m³使用し、昨年度比約5.6%減でした。なお、放流先は全て下水となります。

■ 化学物質使用量（購入量）



清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものを使用していましたが、令和3年度に引き続き、令和4年度もPRTR成分を含有している洗剤、及び剥離剤は使用していません。

6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

環境関連法規遵守については、当社および指定管理施設に適用される環境関連法規及び条例の一覧を作成し、年1回遵守状況を確認し、必要に応じて変更・追加・改善しております。本年度、自社で確認した結果、違反・訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反などの指摘はこれまでありません。

なお、更新審査の際、担当審査員より、ガソリンを使用する場合は、有機溶剤予防規則第3種有機溶剤に該当するため、使用による注意掲示板等の表示がないので表示をするようにとの指示がありました。その後、当社の使用状況では該当しないことを確認いたしました。引き続き、気をつけて作業を行うようにいたします。

| 法規制 | 遵守状況 |
|------------------|------|
| 環境基本法等 | ○ |
| フロン排出抑制法 | ○ |
| 水質汚濁防止法 | ○ |
| 浄化槽法 | ○ |
| 廃棄物処理法 | ○ |
| 消防法 | ○ |
| 置賜広域行政事務組合火災予防条例 | ○ |
| 下水道法 | ○ |
| 自動車リサイクル法 | ○ |
| 家電リサイクル法 | ○ |
| 大気汚染防止法 | ○ |
| ボイラー及び圧力容器安全規則 | ○ |



令和4年度更新審査の様子

7. 代表者による全体評価と見直し

エコアクション21の認証登録を受けて、7年が経過し、エコアクション21推進委員会を中心に当社の環境経営活動が進められています。更新審査の年でしたが、大きな指摘事項もなく、この取組が全組織に拡大しても環境経営システムは有効に機能していることが確認出来ました。特に、5S活動の取組の成果が評価され、特に南陽営業所では、管理対象備品が1/3程度まで削減することが出来ておりました。

令和4年度の取組結果について、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、少しずつ改善が見られています。令和3年度に暖房設備を石油ヒーターからエアコンに揃え、また駐車場内のプレハブにも高性能のエアコンを整備いたしました。研修などでプレハブを使用する機会が増加し、結果電力使用量は増加しました。また、昨年度は暖冬ではあったものの、まとまった降雪が予想されたことがあり、BCP（事業継続計画）の観点より、予備で灯油を購入することがあり、使用量は増加してしまいました。

一方で当社のCO₂排出の多くを占めるガソリンの使用量は、エコカーへの切り替え、従業員のエコドライブの意識の高まりもあり、使用量は増加しましたが、燃費は大幅に改善することが出来ました。

清掃作業で使用するアルカリ洗浄液は環境対応型洗浄液「強アルカリイオン電解水」に変更しましたが、この「強アルカリイオン電解水」によって、作業効率が向上し、社員の残業時間を減らすことが出来ております。この「強アルカリイオン電解水」は令和2年度に「楽落水（らくらくすい）」として商標登録し、今後、販売促進し、お客様の環境負荷軽減の一助になるものと期待しております。

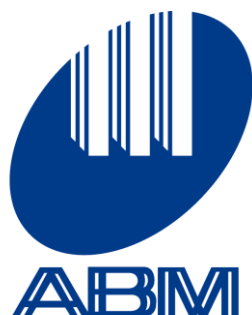
指定管理施設について、令和4年度に入り、確実に利用が戻ってきているようですが、未だに新型コロナウイルス感染症の影響も色濃く、使用控えなどにより稼働率が低下し、利用料金収入が減少いたしました。またウクライナ危機を端に発する原油高騰、電気代高騰の影響もありましたが、令和4年2月からゼロエミッション電気（実質CO₂排出ゼロ）の電力を供給いただいております。大幅にCO₂排出量を削減することが出来ました。

米沢市のチャレンジデーに参加し、地域貢献活動と健康経営を一緒に行う独自の「スポーツ形式のゴミ拾い大会」を実施し、多くの社員が積極的に参加いただくことが出来ました。

環境負荷の軽減というエコアクション21の大きな目的を進めることは当然ですが、私たちは事業活動を通して、お客様や従業員の家庭の環境負荷軽減に寄与すべく、エコアクション21推進委員会を中心として進めていますが、その活動を経営者としてしっかりと支えてまいります。社員の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

2023年7月1日

株式会社イービーエム
代表取締役社長 赤間 俊明



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

株式会社イービーエムは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。

ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

弊社ホームページ（<https://www.y-abm.co.jp/>）又は

エコアクション21中央事務局のHP（<http://www.ea21.jp/>）で

ご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2

TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822